

第3回 立川基地跡地昭島地区に係る猛禽類保護方策検討委員会

議事録

議 事

(1)第2回委員会における指摘事項と対応について

○前回指摘のあった資料の修正、追加調査事項について、事務局から報告

(2)平成 21 年度国有地自然環境調査の経過報告

○事務局から自然環境調査の経過について報告

(3)今後の保護の方策について

○保護方策の検討にあたり、国営昭和記念公園の協力は難しい旨事務局から報告

○保護区域内(暫定)に2箇所の変換巣を設置したことを事務局から報告

(委員の主な意見)

- ・変換巣を設置し、たまたまそこに移動したから問題解決するわけではなく、周辺環境がある程度保全されること、人の立ち入りがなく、餌の採れる場所が十分あること、狩りのしやすい環境であること等、トータルで解決されないと、種の存続は難しい。
- ・変換巣は多くあった方がよい。予算が許せる範囲で変換巣を追加したらどうか。

○利用計画のうち法務省施設、公務員宿舎、公園及び調節池ほかのイメージについて事務局から説明、利用計画のゾーニングを変更しない前提で、どのような保護方策が可能か議論をお願いしたい旨、提案

(委員の主な意見)

- ・利用計画を変更しないという前提だと保全は不可能に近い。
- ・保護区域に隣接している調節池の使い方がスポーツ広場だと、折角保護区域を設定し、変換巣を作っても保全に寄与できない。場所をもう少し北に移動させることは出来ないか。
- ・計画地内の道路も、緑の連続性を持たせた構造に配慮してほしい。

(4)その他

○イノシシを駆除予定であることを報告

○今後の調査・業務等(測量、アセス通年調査)の予定について報告

○平成 22 年度の本委員会の開催時期、回数及び希少猛禽類調査の調査日数(平成 22 年 9 月以降は、3 日×2 回/月)について提案。(委員了解)

以 上